



ロジ案件獲得への第一歩

～ 輸送のセイノーからロジのセイノーへ ～



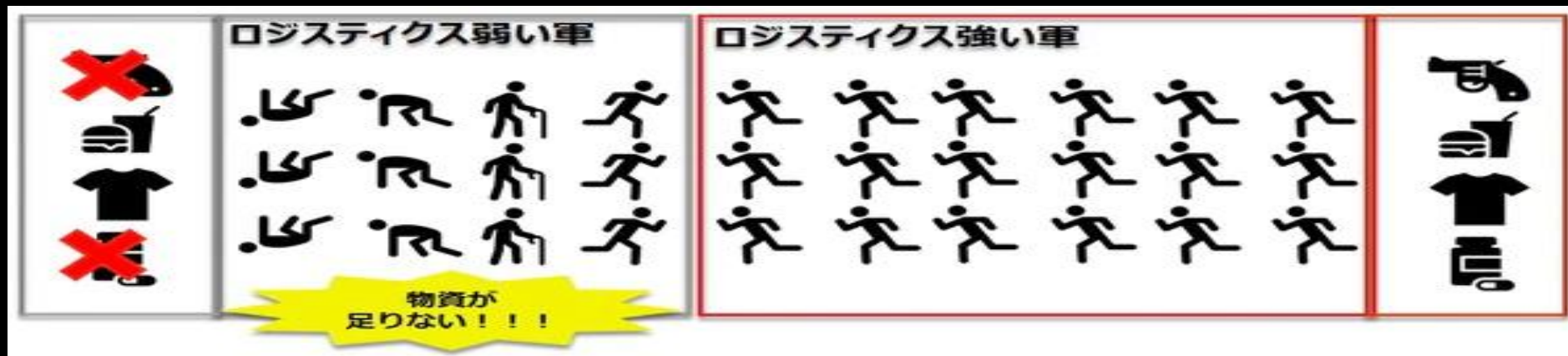
ロジスティクスってなに？

■ロジスティクスとは

物流の諸機能を高度化し、調達・生産・販売・回収などの分野を統合して、需要と供給の適正化を図ることで、顧客満足度を向上させることを指します。

■ロジスティクスの語源

元々、ロジスティクスは軍事用語で、後方から前線部隊に対して、銃器や弾薬、食糧、衣服、薬などの軍需物資を補給する後方支援活動として位置付けられていました。ロジスティクスがうまく機能しなければ、戦闘能力は落ち、兵士の生命が危うくなることから、ロジスティクスが重要視されるようになりました。



ロジスティクスと物流の違い

■ロジスティクスとは

顧客の要求を満たすために発生地点から消費地点までの効率的・発展的な「もの」の流れと保管、サービスおよび関連する情報を計画、実施、およびコントロールする過程であり、ロジスティクスは物流において生産地から消費地までの**全体最適化**を目指すものである。

■物流とは

物的流通、略して「物流」とは、生産物を**生産者から消費者へ引き渡す**（空間および時間を克服する）ことである。主な機能として、**輸送・配送**の他、保管・荷役・包装・流通加工・物流情報処理がある。その中でも、**輸送・保管・荷役・包装・流通加工**は「**物流5大機能**」と言います。

- ✓ 物流・・・生産地から消費地までモノを運ぶことを表すものを言います。
- ✓ ロジスティクス・・・その物流を支える全体の最適化を目指す仕組みや手段の事を言います。

ロジスティクスと物流の違い



物流はロジスティクスの一部

SCMとロジスティクスの違い

■SCMとは

SCMとは**サプライ・チェーン・マネジメント** (Supply Chain Management) の略称です。直訳すると、「**供給連鎖の管理**」となり、「モノを顧客に**届けるための流れ(サプライチェーン)の管理**を行う手法」のことです。ここでいう管理とは、サプライチェーンの流れを**総合的**に見直して、最適化・効率化することを意味します。

✓ロジスティクスは**単体企業**の物流を**一元管理し最適化**を目指しますがSCMはサプライチェーンを構成する**複数の企業**を対象とします。つまり、ロジスティクスよりSCMの方が広い意味を持ちます。

ロジスティクスとSCMの違い



ロジスティクスの目的

■お客様が望むメリット

ロジスティクスの目的は、「**物流の効率化**」です。一般的に、これまで多くの企業で物流は、「**欠かせない活動**ではあるが、**重視をされない活動**」として位置付けられて来ました。それは、単に商品を保管し、届けるためだけの活動として誤解されていたのかもしれませんが。しかし、近年においては**物流コスト増大**の流れから物流にメスをいれる必要性が高まったことから、物流を効率化させるための動きが求められるようになりました。

- ✓ 今まで物流がうまく機能しなかった企業もこのロジスティクスを社内に取り入れることで、**利益を増やすことが可能**です。
ロジスティクス導入で期待できる物には、何があるでしょうか？



ロジスティクスによる経営効果

1. 在庫の適正化

常に適当な数の在庫を保持できるようになれば、在庫不足での販売機会損失を未然に防ぐ事に繋がり、**売上アップ**が期待できます。また、不良在庫を抱える心配も無くなる事で、**無駄なコストを抱える心配もありません。**

2. 効率の良い生産

在庫の適正化ができれば、**必要最低限**の生産数を把握する事ができ、余剰な生産は行われなくなります。

3. 物流コストの削減

在庫の適正化や**効率の良い生産**がうまくできれば、結果的にあらゆる**物流コストを削減**できます。例えばもし仮に余剰在庫を抱えてしまったとします。余剰在庫はその商品の材料費や生産コストだけではなく、輸送したり、保管するための物流コストが必要になります。

余剰在庫の未然防止 = 無駄な物流コストを削減

4. 営業支援

企業の中にロジスティクスが確立されていない場合、営業部門が在庫管理をしている事があります。それでは**営業が営業活動に専念することができません**。ロジスティクスが確立していれば、在庫管理はロジスティクス部門に任せることができます。また、専門の部門が企業の物流活動を総合的に管理する事で、**正確性も担保され取引データとしての信頼性も増します**。それは**情報社会の現代において非常に重要な意味**を持ちます。**必ず営業活動に役立つデータが蓄積されていく事**でしょう。



これは営業にとって、大きなメリットです

物流アウトソーシング

■物流アウトソーシングとは

物流業務を**外部委託**する事です。**3PL**と言われる物流アウトソーシングを実施している倉庫会社等へ委託し、自社の物流機能をプロに委託して、「**人手不足**」「**出荷件数の拡大**」「**保管スペースの確保**」と言った自社で対応しきれなかった悩みを解決することが出来ます。

また、物流アウトソーシングでは、入出庫・在庫管理などの基本的な物流委託はもちろん、アソート・セット作業、返品業務、棚卸、出荷物のおまけやチラシ同封など、**付帯作業**も含めて物流業務全般を委託することができます。

- ✓ 3PLとは・・・Third Party Logisticsの略称。
荷主に代わりノウハウを持つ第三者が、荷主の立場になりロジスティクスの企画・設計・運営を行う事業。
- ◇ 荷主をFirst Party
- ◇ 問屋・小売をSecond Party
- ◇ 物流業務を担う会社をThird Party



西濃運輸の強みを活かす

■全国ネットワークの路線配送網

最大の強み、**日本一の輸送力(デュアルモード輸送)**

■集荷レス

集荷レスにより、受注可能時間の延長による**販売機会の拡大**

■SMC(サプライ・チェーン・マネジメント)

データの共有による**サプライチェーンの最適化**

■WMS(SLIMS-WH)標準版完備

物流センターに標準装備、標準版SLIMS-SPを利用した**商の流動性可視化**

■物流の一括管理

調達から販売までの**サプライチェーンの一括管理**

■SHD各社の様々なサービス

国際・コールドチェーン・情報・商事・金融等の**付加価値を提供**

ご清聴ありがとうございました

今回のプレゼンについて、下記のQRコードより
評価・送信頂きますよう、宜しくお願い致します

